

GRIPS Training Course on University Research Activity Analysis

政策研究大学院大学「GRIPS 大学ベンチマーキングセミナー」 受講者募集のご案内

科学技術政策・高等教育政策において、大学の個性化、ミッションの再定義、大学マネジメントの近代化が求められており、関連する政策が展開されつつあります。さらに我が国を含め、国際的な大学ランキングに対する社会的関心が高まってきています。このような状況を受けて、大学の側においても、独自の「戦略」の構築を念頭に置いて、内外の大学とのベンチマーキング等を含む定量的な分析に取り組みつつあります。

本研修はこのような大学(研究独法を含む)の研究面を中心とする分析について、基本的な知見、手法の提供を行うとともに大学間の情報交換の場を提供することを通じて、大学の機能強化に貢献することを目的として開催します。

本研修では、(1)大学の研究活動の現状を把握・分析するための論文データベースに関する知識と解析手法の基礎について、政策的な応用の状況を含めて紹介すると共に、(2)このような情報や分析を、大学の戦略の形成やそのマネジメントにどう活かすかを研修参加者間の議論・経験の交換を通じて深めていきたいと考えています。従って、自らも問題意識や考え方を発信する意欲を持つ皆様の参加を期待しています。

セミナー概要

日程:

前期 2014年11月19日(水) 13:00~18:00
同 20日(木) 10:00~18:00

後期 2014年12月 4日(木) 13:00~18:00

※前期・後期を通して受講していただくことを前提としています。
研修内容については裏面をご覧ください。

場所:

政策研究大学院大学(東京都港区六本木7-22-1)
4階 研究会室4A及び4B

アクセス:<http://www.grips.ac.jp/about/access/>

参加費: 無料

募集人数: 20名程度

応募者多数の場合、大学ごとの人数を調整させていただきます。また定員に達し次第、締め切らせていただきます。

対象:

- 大学・研究機関の研究企画・評価担当者
- URA (University Research Administrator) 及びURAとしての進路を希望する方
- 大学評価・研究評価等に関心を持つ研究者・学生、など

※大学評価等に対する前提知識は問いません。

応募方法・お問い合わせ:

下記ウェブサイトより参加申し込み用紙ファイルをダウンロードし受講希望講義、必要事項を記入の上、科学技術イノベーション政策プログラム事務局 (gist-ml@grips.ac.jp) までメールにてお送りください。

(応募締め切り: 2014年11月12日(水) 正午)

申込用紙ファイルはこちら: <http://gist.grips.ac.jp/events/2014/10/-grips-1-2.html>

GRIPS 大学ベンチマーキングセミナー

スケジュール・研修内容（詳細スケジュールは変更する場合があります。）

前期

【1日目】2014年11月19日(水)13:00~18:00 @4A

現在提供されている分析結果等についての紹介を中心に行います。

- ・ガイダンス・受講者の紹介
- ・論文から見る国際的な研究動向
- ・国際的大学排名
- ・日本の大学ベンチマーキングの結果
- ・日独の大学ベンチマーキング比較
- ・研究費と論文の関係(科研費の場合)
- ・サイエスマップ

【2日目】2014年11月20日(木)10:00~18:00 @4A

論文データベース(Web of Science)についての情報の提供を行うと共に、現状分析を研究マネジメントへの応用まで深めていく上での問題意識、方法論等について参加者から発表していただき、全員で討議します。

前期終了後、ここで深まった論点等を持ち帰っていただき、さらなる分析等を実施していただきます。

- ・Web of Scienceに関する情報提供
- ・マネジメントへの応用に向けた議論の枠組み
- ・受講者からの問題意識の発表
- ・現状分析とその応用に関する討議

後期

【3日目】2014年12月4日(木)13:00~18:00 @4B

持ち帰っていただいた課題についての検討結果を参加者から発表していただき、全員で討議することを通じて、「大学の研究戦略とは何か?」「どのような分析が可能で、有効か?」「これから何をなすべきか?」を明らかにしていくことを目指します。第2日で参加者から提起された問題意識に関連して、講師からも可能な範囲で情報を提供します。

- ・受講者からの検討結果の発表
- ・講師からの情報の提供
- ・全員による討議

補足情報

- ・受講者からの発表については、受講者間で共有可能な範囲で結構です。
- ・個別具体的な分析支援のご要望がある場合は、研修終了後に別途検討させていただきます。
- ・必須ではありませんが、ノートパソコン(Microsoft Excel 2010以上導入モデル)をご持参いただくと便利です。(研修で用いるデータはこちらでご用意いたします)
- ・1日目(前期)の研修終了後、会費制の懇親会の開催を予定しております。

講師紹介



桑原輝隆 政策研究大学院大学教授

1975年東京大学教養学部基礎科学科卒、1977年同大学院理学系研究科関連化学専門課程修士課程修了、同年科学技術庁入庁。振興局、計画局、原子力局、原子力安全局などで勤務の後、1989年より科学技術政策研究所に在籍。同研究所上席研究官、総括上席研究官、科学技術動向研究センター長、総務研究官を経て、2010年7月より2013年3月まで所長。2013年11月より現職。

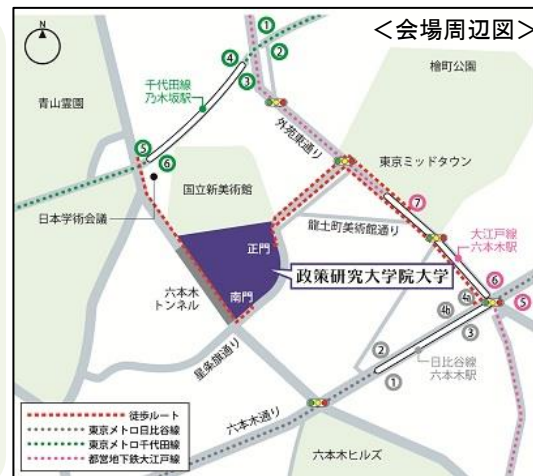


阪 彩香 政策研究大学院大学連携准教授

(文部科学省科学技術・学術政策研究所主任研究官)

2004年東京大学大学院新領域創成科学研究科にて、博士号(生命科学)を取得。同年、文部科学省科学技術・学術政策研究所特別研究員として勤務。2005年より同研究所任期付研究員、2010年より同研究所主任研究員となり現在に至る。2013年より政策研究大学院大学連携准教授。基礎研究を中心とした各国の研究活動のベンチマーキング、基礎研究を俯瞰的に把握する手法開発、日本の大学に関するシステム分析などに従事。

論文データベースのテクニカルな内容の解説のために、外部講師を招く予定です。



政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策プログラムについて GRIPS Innovation, Science and Technology Policy Program (GiST)

政策研究大学院大学では、科学的なアプローチを用いて、科学技術イノベーション政策の企画、立案、遂行、評価、修正を行うことができる人材の育成を目的とする専門の学位プログラム(修士課程・博士課程)を開設しました。総合的なカリキュラムにより、高度の政策分析能力と企画力、複数のディシプリンにわたる理論・方法論、社会科学諸分野での研究・分析能力等を身につけた人材の育成を目指します。また、文部科学省「科学技術イノベーション政策における『政策のための科学』」推進事業(略称:SciREX)の基盤的研究・人材育成総合拠点として、関係府省、国内外の関連機関等とのネットワークを活用しつつ、東京大学、一橋大学、大阪大学(京都大学と共同)、九州大学といった他の拠点校とも連携し、科学技術イノベーション政策のための科学の発展とコミュニティ形成にむけて取り組んでいます。

GISTウェブサイト: <http://www3.grips.ac.jp/~gist/>

SciREX基盤的研究・人材育成拠点ポータル: <http://scirex.grips.ac.jp/>